

平成 20 年 3 月 21 日

各 位

会 社 名	ユナイテッド・テクノロジー・ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 若山 陽一
コ ー ド 番 号	2 1 4 6
問 合 わ せ 先	取締役ファイナンス企画部長 島田 恭介
電 話 番 号	03(5447)1710

グッドウィル・グループ株式会社の株式取得のお知らせ

ユナイテッド・テクノロジー・ホールディングス株式会社（以下、「当社」といいます。）は、平成 20 年 3 月 21 日現在グッドウィル・グループ株式会社（東証 1 部：4723、以下、同社を個別にまたは同社の企業集団を総称して「グッドウィル・グループ」といいます。）の普通株式を合計 766,594 株（同社発行済普通株式総数の 30.40%）保有するにいたりしました。よって、本日、金融商品取引法の規定に従い、関東財務局に大量保有に関する報告書を提出いたしましたのでご報告申し上げます。

記

1. 株式取得の理由

（当社の事業内容）

当社は、製造・技術分野での人材派遣・アウトソーシングサービス事業を営む日本エイム株式会社（以下、「日本エイム」という。）と、中古半導体装置売買等の事業を営む株式会社エイペックス（以下「エイペックス」）とが経営統合して、平成 19 年 4 月に共同株式移転により新たに設立された純粋持株会社です。（以下、当社の企業集団を総称して「当社グループ」といいます。）

日本エイムは、製造工程におけるアウトソーシングを主たる業務とする企業としては初めて上場した企業であり、創業時からコンプライアンス、正社員としての安定雇用、社員の教育・育成の重視など社員に軸足を置いた経営を行っております。同社は、半導体・FPD（フラット・パネル・ディスプレイ）の製造工程におけるアウトソーシングに特化して、顧客に対し製造オペレーションから製造装置の保守など幅広い技術レベルでの受託を可能にし、高い付加価値を提供するとともに、社員に対しては、スキル向上の場を多数設けて、職業能力の向上を支援するなど、人材派遣・アウトソーシング業界の中で独自のポジションを確立して参りました。

また、当社グループは、日本エイムとエイペックスとの統合以降、及び、積極的な業務・資本提携の推進により、半導体・FPD メーカーに対し、デバイス設計、製造ラインの立上げ、及びその運営において、設計-装置-人材の 3 つの面から、高い技術力を背景としたワンストップ・ソリューションを提供できる体制を拡充しております。半導体・液晶関連装置の製造および販売を行うマイクロ技研株式会社との業務・資本提携、本年 3 月 18 日に基本合意いたしました電子計測器等の中古販売、レンタル、オペレーティング・リースを手がけるニチエレ株式会社の株式取得により設計-装置-人

材の総合的なサービス体制の構築及び高付加価値化について着実に事業基盤を強化しております。

こうした取り組みにより、社員のスキル向上とキャリア形成の機会を提供し、人材派遣・アウトソーシング事業の枠を越えた新しいビジネスモデルを展開することによって、顧客、社員をはじめ、すべてのステークホルダーの繁栄を追求する長期的に持続可能な経営戦略を推進しております。

（株式取得の背景）

グッドウィル・グループは技術者派遣、製造派遣・製造アウトソーシング及び軽作業派遣等の幅広い事業を展開する、日本で最大規模の総合人材サービス企業です。

一方、当社グループは「コンプライアンスの徹底」「社員の成長を後押しする仕組みの構築」「請負化のノウハウの強化」を重点的な戦略として推進し、日本の人材サービス企業の中でトップクラスの高収益体制を築いてまいりました。また、関連する装置事業にも進出し、専門性の高さを追求することで、人材派遣・アウトソーシング業界の中で差別化された競争優位性の高いビジネスモデルを構築しており、このノウハウは、現在、当社が特化している半導体・FPD業界に限らず、人材派遣・アウトソーシング業界のあらゆる分野に普遍的に導入できるものと考えております。

日本最大規模の総合人材サービス企業であるグッドウィル・グループとトップクラスの高収益体制を構築している当社グループと協業することにより、規模の経済と高付加価値化を追求し、双方の企業価値の向上を達成できると考えております。また、幅広い人材ビジネスを展開するグッドウィル・グループと、専門性ある人材ビジネスを追求している当社グループとが連携することにより、キャリアプランに「広がり（幅広い事業）」と「深み（専門性）」を兼ね備えることが可能になり、社員に幅広いキャリア形成の機会を提供できるものと考えております。

（人材派遣・アウトソーシング業界の現状と今回の株式取得の意義）

人材派遣・アウトソーシング業界は、規制緩和を背景に、1990年代後半以降急速な成長を遂げてきました。しかし、市場の成長の鈍化、企業の正社員採用の積極化、人材派遣に対する規制強化などを背景に、規模のメリットを追求する再編・合従連衡の動きが進んできております。このような環境の中、コンプライアンスを重視した形での一括請負化の推進などの新しい動きが活発化してきました。

このような業界の構造的な変化が進む中、当社グループは、従前より半導体・FPD業界に特化し「コンプライアンスの徹底」「社員の成長を後押しする仕組みの構築（未経験者の装置エンジニアへの育成など）」「請負化のノウハウの強化」を重点的な戦略として捉え、社員の雇用の安定と成長の場を確保し、付加価値の高いサービスを顧客に提供するという基本路線を一貫して追求してきました。

その結果として、社員の満足度を向上させ離職率の低下を達成するとともに、高収益化を実現してきました。さらに当社グループは、業界全体の健全化を推進するため、コンプライアンスと社員のキャリアアップ支援を目的とした業界団体の設立を呼びかけて参りました。

グッドウィル・グループは、総合人材サービス企業として、技術者派遣、製造派遣・

製造アウトソーシング及び軽作業派遣等の事業を展開しており、多数の優秀なエンジニアとポテンシャルの高い人材リソースを抱えております。当社グループが、高付加価値化、コンプライアンス遵守、請負化のノウハウを提供することは、グッドウィル・グループの経営安定化、企業価値向上に寄与し、社会的な要請に適うものであると考えております。また、顧客企業にとりましても、付加価値の高い安定したサービスを提供できるものと考えております。

以上の点を背景に今後、当社はグッドウィル・グループとの企業価値の向上に向けた資本及び戦略的な業務提携の提案を行いたいと考えております。この度、その前提として、グッドウィル・グループの株式を取得いたしました。

当社といたしましてはグッドウィル・グループ、ならびにグッドウィル・グループ社員・債権者・労働組合・株主の皆様は、友好的かつ真摯に協業をご提案させていただく所存です。

2. グッドウィル・グループ株式会社の概要

- (1) 商号 : グッドウィル・グループ株式会社
- (2) 代表者 : 堀井 慎一
- (3) 所在地 : 東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ 森タワー 35F
- (4) 設立年月日 : 平成 7 年 2 月 1 日
- (5) 事業の内容 : 総合人材サービス
- (6) 事業年度の末日 : 6 月 30 日
- (7) 資本金の額 : 322 億 6,771 万円
- (8) 発行済株式総数 : 2,522,118 株
- (9) 当社との関係 : 取引関係、人的関係、資本関係等、該当ありません。
- (10) 直近の業績(連結) :

(単位:百万円)

区分	平成 18 年 6 月期	平成 19 年 6 月期	平成 20 年 6 月期中間
売上高	185,948	509,001	333,339
営業利益	7,895	9,945	▲1,371
経常利益	6,704	6,794	▲5,285
純資産	50,733	35,957	44,088
総資産	139,541	366,638	304,393

3. 株式取得数量、所有割合、取得価格、取得方法の状況

- (1) 株式取得数量 : 766,594 株
- (2) 発行済普通株式の所有割合 : 30.40%
- (3) 取得資金合計 : 11,865 百万円
- (4) 株式取得方法 : 市場での買い付け

4. 今後の見通し

当社グループの平成 20 年 3 月期における連結業績に与える影響はありません。本件が今後の連結業績に影響を与えることが判明した段階で直ちに公表いたします。また中長期的には、グッドウィル・グループならびに同社従業員・債権者・株主のみなさまに当社提案に共感していただき、当社とグッドウィル・グループとの連携が具体的に実現しましたならば、当社グループとグッドウィル・グループにおける協業、人材交流、業務の効率化など複数のシナジー効果により、当社グループ及びグッドウィル・グループ連結売上高及び利益について、更なる成長を実現できるものと考えております。

今回の株式取得を契機に、新たな事業機会の可能性を追求しながら、友好的な協議と経営面での協力体制を構築する所存でございます。関係者の皆様との協議の進展がございましたら、その都度ご報告させていただきます。

以上